

本年度から、予算可決 **中学校の給食費無償化**

市町村議会

2 日

大仙市

臨時。無投票で 3 選した老松博行市長は所信表明で、子育て支援策の一環として、本年度からの中学校給食費無償化を表明した。無償化の関連経費経費を盛り込んだ 25 年度一般会計補正予算案 など 11 件を可決、承認して閉会した。

中学校の給食費は、年度初めにさかのぼって 4 月分から無償化する。市外の中学校へ通う生徒や、食物アレルギーなどで弁当を持参する生徒の保護者には、1 食当たり 370 円を補助する。

老松市長は「給食費の無償化は、国が小学校での 26 年度開始を念頭に検討を進めている。本市は物価高騰による子育て世帯への影響を考慮し、可能な限り速やかに実現したい。まずは教育費の負担が大きい中学校を対象に無償化する」と述べた。

このほか所信表明では、市長選で掲げた 10 項目の公約に基づき、商工業や農業の振興、子育て支援、移住・定住の促進などに重点的に取り組むとし「21 年目の歩みを踏み出した大仙市の未来を切り開き、さらなる飛躍と発展に向けた礎を築く」と述べた。可決された補正予算は 4 億 1887 万円で累計 455 億 487 万円。中学校の給食費無償化のための特別会計繰出金 8926 万円、市営合葬墓整備費 875 万円など。

24 年度一般会計に 21 億 3383 万円追加して累計 532 億 8189 万円とした専決処分も承認した。多くは各種交付金の額確定などに伴う基金の額確定などに伴う基金の積み増し。財政調整基金積立金 7 億円など。(佐藤拓)

(令和 7 年 5 月 3 日(土)秋田魁新聞より一部抜粋)